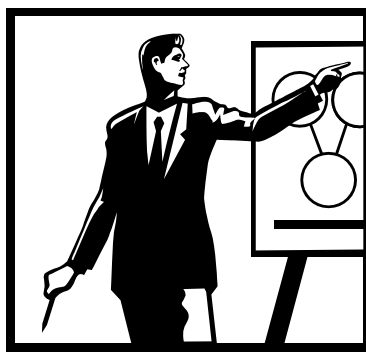


2021 年合格目標

TAC 中小企業診断士講座

2次本試験分析会レジュメ



(2021年11月10日現在)

【重要】模範解答ご利用にあたっての注意事項

模範解答のご利用につきましては、以下の内容をご確認・ご了承のうえご利用ください。

- ・模範解答はTAC（株）が独自の見解に基づき、サービスとして情報を提供するもので、試験機関による本試験の結果等(合格基準点・可否)について保証するものではありません。
- ・試験の詳細につきましては、各試験機関等にお問合せください。
- ・模範解答の内容は将来予告なく変更する場合がございます。予めご了承ください。
- ・模範解答は、TAC（株）の予想解答です。模範解答に関するご質問はお受けしておりませんので、予めご了解ください。
- ・模範解答の著作権はTAC（株）に帰属します。許可無く一切の転用・転載を禁じます。

令和3年度 第2次筆記試験 「再現答案」「得点開示請求結果」募集のご案内

平素はTACをご利用いただきまして、誠にありがとうございます。

TAC 中小企業診断士講座では、令和3年度第2次筆記試験を受験された皆様を対象に、本試験で実際に作成された答案を再現した「再現答案」と、(一社) 中小企業診断協会への「個人情報の開示請求(得点開示請求)」に基づく「得点開示請求結果」を募集しております。

受験生の皆様の解答内容及び得点状況を分析し、講義・教材の質の向上に役立てさせていただきますので、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

募集要項

令和3年11月吉日

①「再現答案」

【募集期間】 11/8(月) ～ **2022年2/28(月)**

【募集方法】 TAC ホームページ「中小企業診断士 2次筆記試験特集ページ」(右記、二次元コードを読み込んでいただくか、Googleにて「TAC 診断士 2次 解答速報」で検索するとヒットします) にアクセスし、「『再現答案』募集」の欄をご確認ください。

【注意事項】 ・メール添付にてご提出ください。

専用メールアドレス：saigen@tac-school.co.jp

- ・TAC 受付窓口へのご提出ならびに郵送でのご提出は承っておりません。
- ・再現答案に対する添削指導や謝礼はございません。



機種によっては読み込めない場合がございます。

②「得点開示請求結果」

【募集期間】 2022年2/2(水)_(予定) ～ **4/11(月)**

【募集方法】 TAC ホームページ「中小企業診断士 2次筆記試験特集ページ」(右上、二次元コードを読み込んでいただくか、Googleにて「TAC 診断士 2次 解答速報」で検索するとヒットします) にアクセスし、「『得点開示請求結果』募集」の欄をご確認ください。

【注意事項】 ・回答書のスキャニングデータ又は写真を専用アドレスにメールでお送りください。

専用メールアドレス：saigen@tac-school.co.jp

- ・TAC 受付窓口へのご提出は承っておりません。

＜謝礼＞

A) 得点開示請求結果のみご応募の方：電子マネー1,000円分

B) 2次筆記試験再現答案をご応募され、その後、得点開示請求結果を応募された方：
電子マネー2,000円分

※「上記①のみ」「上記②のみ」「上記①②両方」いずれもご応募可です。

<全体講評>

今年度の2次筆記試験は、4事例とも対応が難しい問題です。その結果、苦戦した受験生が多かったと思われます。特に事例Ⅳは、昨年度よりさらに情報量が多く、すべての問題をまともに処理するのは困難だったと思われます。「うまく対応できなかった」「失敗した」という印象を持っている方は少なくないと思いますが、合格者の多くは「合格するとは思っていなかった（発表見て驚いた）」というのがこの試験です。今年もそうなると思います。

それぞれの事例について、簡単に特徴を整理してみます。

事例Ⅰは、理由や要因を要求することが多いですが、今年度は第1問、第2問と「なぜ？」「なぜ？」と異なる表現で「何か意図があるのか？」と考えた受験者は少なくないと思います。また、従来どおり5問構成なのですが、第4問、第5問と助言（今後についての策を提案）する問題が2問あるため全体の難易度は高くなっています。第1問から第3問も決して簡単というわけではないですが、ここで得点を積み上げておきたいです。

事例Ⅱは、3年連続第1問でSWOT4つすべてを個別に要求する問題です。第1問で環境分析をさせるタイプがすっかり定着したようです。第2問（配点25点）は比較的対応しやすいですが、第3問（配点30点）のフランチャイザー/フランチャイジーそれぞれへの助言が難しいです。配点30点だけに、ここでほとんど得点にならなかった場合大きな痛手になります。さらに第4問（配点25点）も解答内容に迷う問題であり、検討する時間が不足してしまう可能性が高いです。

事例Ⅲは、従来どおりの問題構成、出題内容でした。ただし、第2問と第3問の切り分けを注意深く行わないと、4つの課題がぐちゃぐちゃになってしまうリスクがあります。具体的には、第2問では「受託生産品の製造工程の効率化」に関係するところだけ、第3問は「自社ブランド製品の開発強化の実現」に関係することだけに着眼点を絞らないと混乱する可能性が高いです。さらに第4問（配点30点）が2つの結論のうちどちらかを選択する問題で、今回の設定だと出題者の意図をはずした場合0点になる可能性が高いですから、得点のばらつきが大きくなると思われます。

事例Ⅳは、冒頭でも取り上げたように全体的に文章量が多いため、ボリュームに圧倒されてしまう可能性が高いです。しかも第1問の経営分析は優れているところ2つと課題2つの合計4つの指標を選ぶという初めての設定でしたので通常より時間を要したでしょう。結果的に、すべて処理仕切れた受験者は少ないと思われます。このような設定の場合、「処理順の判断」が重要になります。第2問に比べかなり得点可能性が高い第3問（配点20点）で得点できていれば十分な対応になると思われます。

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅰ】

第1問（配点20点）

技	術	革	新	に	よ	る	低	価	格	化	や	小	ロ	ッ	ト	化	な	ど	の
環	境	変	化	に	対	し	、	顧	客	の	細	か	い	ニ	ー	ズ	へ	の	対
応	や	高	品	質	、	高	精	度	な	仕	上	が	り	で	差	別	化	を	図
る	た	め	に	は	、	専	門	特	化	さ	れ	た	協	力	企	業	に	製	作
工	程	を	依	頼	す	る	の	が	得	策	で	あ	る	と	考	え	た	か	ら。

第2問（配点20点）

社	外	に	お	け	る	経	験	や	人	脈	が	活	か	せ	る	こ	と	に	加
え	、	前	例	に	と	ら	わ	れ	ず	に	早	期	に	事	業	変	革	が	し
や	す	い	と	考	え	た	か	ら	。	ま	た	、	組	織	運	営	能	力	や
社	外	と	の	調	整	能	力	の	蓄	積	、	当	事	者	意	識	の	醸	成
な	ど	、	経	営	者	教	育	の	機	会	に	な	る	と	考	え	た	か	ら。

第3問（配点20点）

利	点	は	、	紙	媒	体	に	依	存	せ	ず	、	よ	り	幅	広	い	ニ	ー
ズ	に	対	応	で	き	る	事	業	体	質	と	な	っ	た	こ	と	に	加	え
既	存	事	業	と	の	シ	ナ	ジ	ー	効	果	が	生	じ	た	こ	と	。	欠
点	は	、	厳	し	い	競	争	環	境	に	さ	ら	さ	れ	、	営	業	に	十
分	な	経	営	資	源	を	割	く	の	が	困	難	に	な	っ	た	こ	と	。

第4問(配点20点)

A	社	か	ら	の	指	示	に	従	っ	て	も	ら	う	と	い	う	一	方	向
の	関	係	か	ら	、	双	方	向	コ	ミ	ュ	ニ	ケ	一	シ	ョ	ン	に	よ
っ	て	新	た	な	製	品	や	サ	ー	ビ	ス	を	生	み	出	し	て	顧	客
に	提	案	す	る	な	ど	、	新	規	の	需	要	を	共	同	で	創	造	す
る	パ	ー	ト	ナ	一	関	係	へ	発	展	さ	せ	る	べ	き	で	あ	る	。

第5問(配点20点)

課	題	は	、	新	規	顧	客	獲	得	力	の	向	上	で	あ	る	。	解	決
策	は	、	ま	ず	は	3	代	目	が	ト	ッ	プ	セ	ー	ル	ス	を	行	い
な	が	ら	、	徐	々	に	営	業	担	当	者	の	採	用	・	育	成	を	行
う	。	そ	の	後	、	営	業	部	門	を	設	け	て	組	織	的	な	体	制
と	す	る	な	ど	、	計	画	的	・	段	階	的	に	進	め	て	い	く	。

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅱ】

第1問（配点20点）

①S

地	元	産	大	豆	や	良	質	な	水	を	用	い	た	豆	腐	の	品	質	と、	
Y	社	と	の	関	係	性	。													

②W

受	注	用	サ	イ	ト	の	ノ	ウ	ハ	ウ	が	な	く、	主	婦	層	の	顧		
客	が	少	な	い	こ	と	。													

③O

リ	モ	ー	ト	ワ	ー	ク	浸	透	に	よ	る	自	宅	で	の	食	事	に	こ	
だ	わ	る	家	庭	の	増	加	。												

④T

感	染	症	に	よ	る	人	的	接	触	回	避	の	傾	向	と、	全	国	の		
豆	腐	EC	サ	イ	ト	と	の	競	合	。										

第2問（配点25点）

Y	社	サ	イ	ト	の	顧	客	で	あ	る	全	国	の	食	通	に	対	し、	
「	手	作	り	豆	腐	セ	ツ	ト	」	を	コ	ラ	ボ	企	画	と	し	て、	
X	市	の	魅	力	を	伝	え	る	Y	社	サ	イ	ト	で	販	売	す	る。	
Y	社	の	米	と	水	及	び	「	豆	腐	井	」	の	レ	シ	ピ	を	添	え
る	こ	と	で	全	国	の	EC	サ	イ	ト	と	の	差	別	化	を	図	る。	

第3問(配点30点)

(a)

冷	蔵	ボ	ッ	ク	ス	を	調	達	し	た	上	で	、	置	き	配	開	始	を
告	知	す	る	マ	ー	ケ	テ	ィ	ン	グ	ツ	ー	ル	を	作	成	し	、	試
食	用	商	品	を	手	配	す	る	。										

(b)

毎	月	顧	客	に	電	話	を	か	け	月	替	わ	り	商	品	の	説	明	を
積	極	的	に	行	い	、	接	点	確	保	に	よ	り	愛	顧	を	向	上	さ
せ	、	継	続	的	購	入	を	促	す										

第4問(配点25点)

京	文	化	の	親	和	性	を	持	つ	X	市	の	和	菓	子	店	と	共	同
で	製	品	開	発	し	、	コ	・	ブ	ラ	ン	ド	戦	略	を	採	用	す	る
既	存	顧	客	に	対	し	、	新	素	材	を	使	っ	た	菓	子	で	人	気
の	和	菓	子	店	と	の	製	品	を	IM	で	訴	求	し	、	話	題	性	を
高	め	て	ク	チ	コ	ミ	に	よ	る	拡	散	を	期	待	す	る	。		

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅲ】

第1問（配点20点）

(a)

天	然	素	材	の	な	め	し	革	を	材	料	に	用	い	、	高	級	品	の
自	社	ブ	ラ	ン	ド	製	品	を	生	産	で	き	る	加	工	技	術	力	。

(b)

バ	ッ	グ	メ	一	カ	一	か	ら	生	産	委	託	を	受	け	て	い	る	低
価	格	品	が	売	上	高	の	約	80	%	を	占	め	る	収	益	構	造	。

第2問（配点30点）

(a)

縫	製	工	程	に	お	け	る	作	業	割	り	当	て	の	最	適	化	。	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

(b)

受	託	生	産	品	の	生	産	計	画	も	考	慮	し	て	作	業	を	割	り
当	て	、	自	社	ブ	ラ	ン	ド	製	品	が	計	画	さ	れ	た	場	合	に
受	託	生	産	品	の	作	業	が	中	断	す	る	こ	と	を	回	避	し	、
作	業	要	員	を	確	保	し	て	生	産	量	の	適	正	化	を	図	る	。

(a)

検	品	工	程	で	発	見	さ	れ	る	手	直	し	作	業	の	削	減	。	
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	--

(b)

製	造	の	最	終	工	程	を	担	当	す	る	仕	上	げ	工	程	で	も	、
熟	練	度	を	考	慮	し	て	作	業	割	り	当	て	を	行	い	、	裁	断
断	面	の	処	理	等	の	製	品	の	出	来	栄	え	の	ば	ら	つ	き	を
な	く	し	、	手	直	し	コ	ス	ト	の	削	減	を	図	る	。			

第3問(配点20点)

製	品	企	画	面	で	は	、	小	売	店	の	情	報	や	修	理	情	報	も	
活	用	し	て	開	発	経	験	の	機	会	を	増	や	す	こ	と	。	生	産	
面	で	は	、	資	材	の	納	品	期	間	や	作	業	割	り	当	て	、	完	
成	品	の	在	庫	量	等	の	情	報	を	製	造	部	門	で	共	有	し	、	
生	産	計	画	の	変	更	を	減	ら	す	と	と	も	に	、	完	成	品	を	
過	不	足	な	く	生	産	で	き	る	体	制	を	整	え	る	こ	と	。		

第4問(配点30点)

熟	練	職	人	の	手	作	り	で	高	級	感	を	出	す	方	策	を	選	ぶ。
そ	の	対	応	策	と	し	て	、	6	名	の	熟	練	職	人	ご	と	に	チ
一	ム	を	作	り	、	各	チ	一	ム	に	若	手	職	人	を	配	置	し	て
全	体	縫	製	の	O	J	T	を	行	い	、	一	人	で	製	品	化	す	る
た	め	に	必	要	な	製	造	全	体	の	技	術	習	熟	を	進	め	る	。
こ	れ	に	よ	り	、	熟	練	職	人	の	養	成	を	進	め	て	縫	製	工
程	の	負	荷	を	低	減	し	、	さ	ら	な	る	収	益	向	上	を	図	る。

【中小企業の診断及び助言に関する実務の事例Ⅳ】

第1問（配点30点）

（設問1）

	(a)	(b)
① 棚卸資産回転率		25.79 (回)
② 当座比率		65.45 (%)
③ 売上高営業利益率		0.32 (%)
④ 自己資本比率		19.85 (%)

（設問2）

地元の密着経営により商品の購入・保管等が効率的であり資金効率に優れている。一方、人件費の削減等により収益性を改善させることと内部留保を蓄積していくことが課題である。

第2問（配点30点）

（設問1）

(a)	25,600,000 (円)
(b)	差額減価償却費： $21,000 \div 6 - 10,000 \div 5 = 1,500$ (万円) 売却損による節税効果： $1,200 \times 0.3 = 360$ (万円) キャッシュフロー (CF)： $2,500 \times 0.7 + 1,500 \times 0.3 + 360 = 2,560$ (万円) = 25,600,000 (円)

（設問2）

<p>2022年度期首のCF：$-210 \times 100 + 8 \times 100 = -20,200$ (万円)</p> <p>2023年度期首（2022年度期末）の本投資を行わなかった場合の支出額：$100 \times 100 = 10,000$ (万円) ※支出が回避されるためCIFと考える。</p> <p>2023年度期末～2027年度期末のCF：$2,500 \times 0.7 + 1,500 \times 0.3 = 2,200$ (万円)</p> <p>NPV：$(10,000 + 2,560) \times 0.943 + 2,200 \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) - 20,200 = 386.88$ (万円) = 3,868,800 (円)</p> <p>∴正味現在価値が3,868,800円と正であるため、当該取替投資案は採択に値する。</p>

(設問3)

(a)	1,932,159 (円)
(b)	<p>2023年度期首に購入する場合のフルセルフレジ1台の価格を x 万円とおく。 取得価額の合計：$100x$ 減価償却費：$100x \div 5 = 20x$ 初期投資額を除いた2022年度中のキャッシュフロー： $= 2,500 \times (1 - 0.3) + (20x - 2,000) \times 0.3 = 6x + 1,150$ 2023年度期首の更新が有利となるフルセルフレジ1台の価額： $(10,000 - 100x) \times 0.943 + (6x + 1,150) \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) > 386.88$ $x < 193.2159078$ (万円) $\rightarrow x < 1,932,159.078$ 円 $\therefore 1,932,159$ (小数点以下切り捨て)</p>

第3問 (配点20点)

(設問1)

32,143 (kg)

(設問2)

(a)	38,572 (kg)
(b)	<p>年間販売量を x kgとおくと、以下の (iii) が範囲内であり適しているため $x = 38,571.428 \dots \rightarrow x = 38,572$ (小数点以下切り上げ) となる。 (i) $0\text{kg} \sim 20,000\text{kg}$ 以下：$1,040 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$ $\rightarrow x = 25,961.538 \dots \therefore$不適 (ii) $20,000\text{kg}$ 超 $\sim 30,000\text{kg}$ 以下：$880 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$ $\rightarrow x = 30,681.818 \dots \therefore$不適 (iii) $30,000\text{kg}$ 超 $\sim 40,000\text{kg}$ 以下：$700 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$ $\rightarrow x = 38,571.428 \dots \therefore$適している (iv) $40,000\text{kg}$ 超 $\sim 50,000\text{kg}$ 以下：$500 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$ $\rightarrow x = 54,000 \therefore$不適</p>

第4問 (配点20点)

(設問1)

非	接	触	型	事	業	強	化	に	よ	る	売	上	増	加	、	資	源	集	中	
に	よ	る	効	率	化	で	売	上	高	営	業	利	益	率	が	改	善	す	る	。

(設問2)

高	齢	化	が	進	む	地	元	住	民	へ	の	地	域	貢	献	と	な	り	地	
元	密	着	経	営	と	い	う	強	み	の	強	化	に	つ	な	が	る	か	ら	。

事例Ⅳ（令和3年度） 計算過程

第1問

（設問1）

- ①棚卸資産回転率： $1,655,500 \div 64,200 = 25.786 \dots \approx \underline{25.79}$ （回）
- ②当座比率： $(46,900 + 61,600 + 4,400) \div 172,500 \times 100 = 65.449 \dots \approx \underline{65.45}$ （%）
- ③売上高営業利益率： $5,300 \div 1,655,500 \times 100 = 0.320 \dots \approx \underline{0.32}$ （%）
- ④自己資本比率： $136,000 \div 685,200 \times 100 = 19.848 \dots \approx \underline{19.85}$ （%）

第2問

（設問1）

- 2022年度期首 （単位：万円）

（借）減価償却累計額	8,000	（貸）機械 ※1	10,000
（借）機械 ※2	21,000	（貸）現金預金	20,200
（借）機械売却損	1,200		

- ・機械（セミセルフレジ）の取得価額（※1）： $100 \times 100 = 10,000$ 万円
- ・減価償却費： $10,000 \text{万円} \div 5 = 2,000$ 万円
- ・減価償却累計額： $2,000 \text{万円} \times 4 = 8,000$ 万円
- ・売却する機械の帳簿価額： $10,000 - 8,000 = 2,000$ 万円
- ・売却額： $8 \times 100 = 800$ 万円
- ・売却損： $2,000 - 800 = 1,200$ 万円
- ・機械（フルセルフレジ）の取得価額（※2）： $210 \times 100 = 21,000$ 万円
- ・支出額： $210 \times 100 - 800 = 20,200$ 万円

※セミセルフレジの下取り価額がフルセルフレジの代価から差し引かれる

- 更新後（フルセルフレジ）の減価償却費

上記より、取得原価が21,000万円であるため、減価償却費は次のとおりである。

減価償却費： $21,000 \text{万円} \div 6 = 3,500$ 万円

- 初期投資額を除いた2022年度中のキャッシュフロー

「 $(\text{CIF} - \text{COF}) \times (1 - \text{税率}) + \text{減価償却費} \times \text{税率}$ 」で計算する。また、売却損の影響は期末に生じるものとする（「それ以外のキャッシュフローは年度末に一括して生じる」とあるため）。

- ・差額現金収支： $2,500$ 万円
- ・差額減価償却費： $3,500 - 2,000 = 1,500$ 万円
- ・売却損による節税効果： $1,200 \times 0.3 = 360$ 万円

・キャッシュフロー (CF) ;

$$2,500(1-0.3) + 1,500 \times 0.3 + 360 = 2,560 \text{ 万円} = \underline{25,600,000 \text{ 円}}$$

(設問 2)

●2022 年度期首の CF

$$\text{CF} : -210 \times 100 + 8 \times 100 = -20,200 \text{ 万円}$$

●2022 年度期末の CF

年度中の CF : 設問 1 のとおり 2,560 万円

2023 年度期首 (2022 年度期末) の本投資を行わなかった場合の支出額 :

$$100 \times 100 = 10,000 \text{ 万円} \ast \text{支出が回避されるため CIF と考える。}$$

●2023 年度期末から 2027 年度期末までの年々のキャッシュフロー

$$\text{年々の CF} : 2,500(1-0.3) + 1,500 \times 0.3 = 2,200 \text{ 万円}$$

●正味現在価値

$$(10,000 + 2,560) \times 0.943 + 2,200 \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) - 20,200 \\ = 386.88 \text{ 万円}$$

$$= 3,868,800 \text{ 円}$$

∴ 正味現在価値が 3,868,800 円と正であるため、当該取替投資案は採択に値する。

(設問 3)

2023 年度期首にセミセルフレジへと更新する場合と 2023 年度期首にフルセルフレジへと更新する場合の差額キャッシュフローを考える。

●2024 年度期末から 2027 年度期末までの年々の差額キャッシュフロー

2023 年度期首に購入するフルセルフ 1 台の価格を x 万円とおく。

$$\cdot \text{取得価額} : x \times 100 = 100x$$

$$\cdot \text{減価償却費} : 100x \div 5 = 20x$$

・初期投資額を除いた 2022 年度中のキャッシュフロー :

「(CIF-COF) × (1-税率) + 減価償却費 × 税率」で計算する。

$$\text{CF} : 2,500 \times (1-0.3) + (20x - 2,000) \times 0.3 \\ = 1,750 + 6x - 600 \\ = 6x + 1,150$$

●2022 年度期首にフルセルフレジへ更新する場合との比較

上記で求めた CF から NPV を算出し、(設問 2) と比較して有利となる価額を算出する。なお、(設問 2) の NPV を利用して求めるため、2022 年度期首に割り引く。

<2023 年度期首の更新が有利となるフルセルフレジ 1 台の価額>

$$(10,000 - 100x) \times 0.943 + (6x + 1,150) \times (0.890 + 0.840 + 0.792 + 0.747 + 0.705) > 386.88$$

$$9,430 - 94.3x + (6x + 1,150) \times 3.974 > 386.88$$

$$9,430 - 94.3x + 23.844x + 4,570.1 > 386.88$$

$$-70.456x > -13,613.22$$

$$x < 193.2159078 \text{ 万円}$$

$$x < 1,932,159.078 \text{ 円} \quad \therefore \underline{1,932,159 \text{ 円}} \quad (\text{小数点以下切り捨て})$$

第 3 問

(設問 1)

1 kg 当たりの変動費と固定費および目標利益から必要となる年間販売数量を算出する。

●1 kg 当たりの変動費

$$1 \text{ kg 当たりの変動費} : 30,000,000 \text{ 円} \times 60\% \div 50,000 \text{ kg} = 360 \text{ 円}$$

●固定費

$$\text{固定費} : 30,000,000 \text{ 円} \times 40\% = 12,000,000 \text{ 円}$$

●年間販売数量

年間販売量を x kg とすると、

$$(1,200 - 360) \times x - 12,000,000 = 15,000,000$$

$$840x = 27,000,000$$

$$x = 32,142.857 \dots \rightarrow x \doteq \underline{32,143 \text{ kg}} \quad (\text{小数点以下切り上げ})$$

(設問 2)

1kg 当たりの限界利益から目標利益を達成する年間販売数量を算出し、目標販売数量の範囲内であるかどうかを確認する。

●1kg 当たりの限界利益

$$0 \text{ kg} \sim 20,000 \text{ kg 以下} \quad 1,400 - 360 = 1,040$$

$$20,000 \text{ kg 超} \sim 30,000 \text{ kg 以下} \quad 1,240 - 360 = 880$$

$$30,000 \text{ kg 超} \sim 40,000 \text{ kg 以下} \quad 1,060 - 360 = 700$$

$$40,000 \text{ kg 超} \sim 50,000 \text{ kg 以下} \quad 860 - 360 = 500$$

●年間販売数量

(i) 0kg～20,000kg 以下

$$1,040 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$$

$$1,040x = 27,000,000$$

$$x = 25,961.538 \dots$$

0kg～20,000kg 以下でないため不適である。

(ii) 20,000kg 超～30,000kg 以下

$$880 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$$

$$880x = 27,000,000$$

$$x = 30,681.818 \dots$$

20,000kg 超～30,000kg 以下でないため不適である。

(iii) 30,000kg 超～40,000kg 以下

$$700 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$$

$$700x = 27,000,000$$

$$x = 38,571.428 \dots$$

30,000kg 超～40,000kg 以下であるため適している。

(iv) 40,000kg 超～50,000kg 以下

$$500 \times x - 12,000,000 = 15,000,000$$

$$500x = 27,000,000$$

$$x = 54,000$$

40,000kg 超～50,000kg 以下でないため不適である。

以上のことから (iii) が範囲内であり適しているため

$x = 38,571.428 \dots \rightarrow x = \underline{38,572}$ (小数点以下切り上げ) となる。